

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 18 年 6 月 26 日 (月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	淋菌/クラミジアトラコマチス同時核酸増幅	
検査コード	6237	6238
検体量	初尿 2.0 ml	分泌物
容器・保存	Q24 (専用)・室温	Q23 (専用)・室温
実施料 (判断料)	300 点 (微生物)	
所要日数	2 ~ 5 日	
検査方法	TMA 法	
基準値	陰性	

保険収載名称：淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸増幅同定精密検査

保 険 注 釈：ア 淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸増幅同定精密検査は、クラミジア・トラコマチス感染症若しくは淋菌感染症が疑われる患者又はクラミジア・トラコマチスと淋菌による重複感染が疑われる患者であって、臨床所見、問診又はその他の検査によっては感染因子の鑑別が困難なものに対して治療法選択のために実施した場合及びクラミジア・トラコマチスと淋菌の重複感染者に対して治療効果判定に実施した場合に算定できる。  
ただし、区分「D012」感染症免疫学的検査の「21」の淋菌同定精密検査、同区分「21」のクラミジアトラコマチス抗原精密測定、本区分「2」の淋菌核酸同定精密検査、クラミジアトラコマチス核酸同定精密検査、「3」の淋菌核酸増幅同定精密検査又はクラミジアトラコマチス核酸増幅同定検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

イ 淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸増幅同定精密検査は、TMA 法による同時増幅法と HPA 法及び DKA 法による同時検出法による。淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸増幅同定精密検査は、泌尿器又は生殖器からの検体によるものである。ただし、男子尿は含み女子尿は含まない。

《 解 説 》

本検査は、淋菌及びクラミジアトラコマチスを同時に検出することが可能な方法として、新たに保険収載され、同時に両項目を測定することの重要性が認識されたと言えます。本方法は反応阻害物質の影響を受けず、高い特異性を示しますので、混合感染例の増加が懸念されている中、本検査は両疾患の診断に有用と考えられます。